

# がんに打ち克つところを育む！ がんサバイバーのための SAT 療法講演会

早期がんのほとんどが治療によって克服できるようになった今でも、進行性がん患者の多くは副作用に耐えながら治療を受け、がん死亡率は日本人全体の約3割と高い状態が続いているのが現状です。そのため、「がんは死ぬ病気」と考えている人も多く、一旦がんになると死への恐怖に怯えてしまいます。しかしこの恐怖心がんをさらに治り難くしていることはご存じでしたか？ そうなんです、がんはフィジカルよりもメンタル面が原因で起こる病気なのです。

最新のがん心理療法である SAT 療法によって、仕事中心の生活から心底楽しいと思える生活に、これまでの生き方を大きく変え、家族や仲間と気持ちが交流できるようになると、免疫防衛力や遺伝子防衛力が働き、がん抑制遺伝子が働いてがんは自然退縮することがわかってきました。この講演会では、SAT 療法の開発者で日本におけるがん心理療法の第 1 人者である筑波大学大学院宗像恒次教授をお迎えし、「がんと心の関係」や「SAT 療法」についてわかりやすくお話いただきます。

日時：平成 21 年 9 月 12 日(土) 午後 1 時～3 時半

つくばセンターより大学中央行き(10,20,30)のバス

場所：筑波大学総合研究棟1階D116室(地図 67 の建物)

筑波大学西バス停

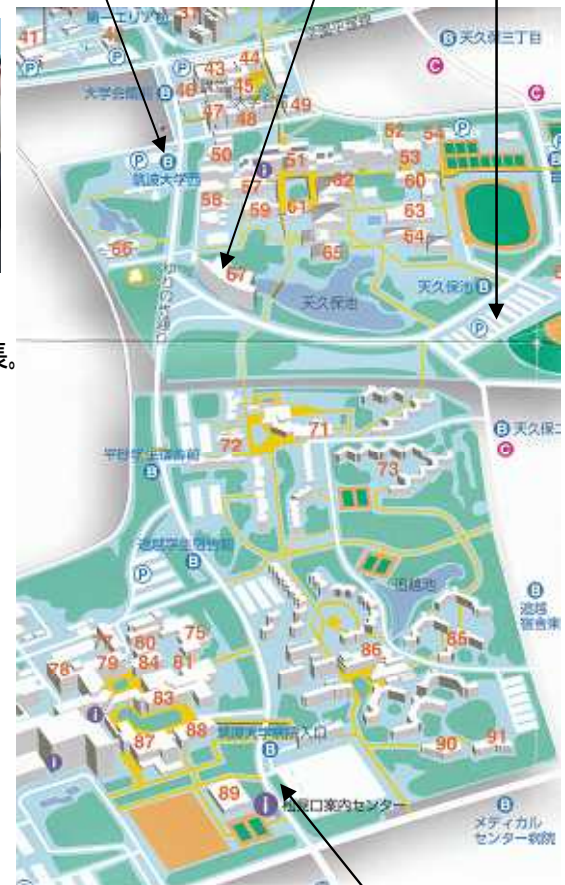
会場

駐車場

講師：宗像恒次教授(筑波大学大学院人間総合科学科)

定員：150 名(予約先着順)

参加費：1,000 円(テキスト代と資料代)



## < 講師のプロフィール >

1948 年大阪府豊中市生まれ。筑波大学大学院教授(人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻分野)、保健学博士(東京大学大学院医学研究科)、NPO 法人ヘルスカウンセリング学会会長。米国カリフォルニア大学神経精神医学科研究員、米国ハーバード大学医学部社会医学科客員研究員、世界保健機関(WHO)エイズ世界対策局顧問および薬物依存局顧問、国立精神・神経センター精神保健研究所研究室長等を歴任する。

主な著書に、『燃え尽き症候群』(金剛出版)、『医療・健康心理学』(福村出版)、『ストレス解消学』(小学館ライブラリー)、『最新行動科学からみた健康と病気』(メヂカルフレンド社)、『SAT カウンセリング技法』(広英社)、『生活習慣病とヘルスカウンセリング』(日総研)、『カウンセリング医療と健康』(金子書房)、『がん、うつ病から家族を救う愛の療法』(主婦と生活社)、『健康遺伝子が目覚めるがんの SAT 療法』(春秋社)他多数

主催：NPO 緑の風ヘルスサポートジャパン 共催：筑波大学大学院人間総合科学科宗像研究室、ラポールの会(がん体験者とその家族の会)、日本保健医療行動科学会東京支部

協賛：NPO 法人ヘルスカウンセリング学会、FM ラジオつくば(84.2MHz)、ゲルソン療法を実践するランチの会

後援：つくば市、つくば市教育委員会

車の方は、ここで駐車許可書をもってください

(予約は TEL 050-1417-5964 又は、HP <http://npo-midorinokaze.com/> 又は、裏面 FAX 申込書にて)

10/11(日)と11/7(日)には、がん患者・がん体験者の方 10 名限定で、カウンセラー 5 名による SAT 療法体験コース(受講料各 1,000 円)を開催します。講演会当日に会場にてお申込みください。